

目次

——『風』『談論風発』	図書館の基本を求めてⅣ
2008	～
2009	より
——	——

「図書館の基本」を見つめる視線	1
最新の機器と対話のないカウンター	6
図書館の組織を衰退させないために	11
利用される、役立つ図書館づくりのために――職員の果たす役割は何か――	16
危機管理ばかりが導く方向	62
読書案内――以前のメモと現在の状況――	67
図書館を見学する立場、見学される立場	73
新聞による図書館報道の虚実	78
貸出はもっと伸ばさなければならぬ	92
行政情報の提供と民営化の一面	98
図書館のビジネス支援サービスは成功しているか	103
何のための忙しさ、何のための評価？	124
最先端の機器、そして資料費と職員体制は？	129
小規模図書館に求められる職員――現場からの視点――	134

iii 目次

なぜ「闘病記コーナー」なのか？	144
民営化は高くつく	149
自動化書庫は何をもたらすか―蔵書が生かさされなくなる―	154
読書案内への意識的な取り組みを	168
失職した人たちと図書館のビジネス支援	173
図書館の役割は知を高めることだけではない―佐野眞一氏の発言について―	178
あとがき	183